

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
<http://saitokuji.tobiiryo.jp/>
発行人 脇阪 義幸
印 刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



暮らしの中の仏教

墓石への法名刻みはお問い合わせください。



お朝事の様子

今月の予定

5月

- 9日(土) 午後3時15分
9日(土) 午後5時半
16日(土) 午後1時半
17日(日) 午後2時
20日(水) 午前11時
23日(土) 午後3時15分
24日(日) 午後2時
26日(火) 午後7時

混声合唱団「エコー」練習 (中止)

同行会修習式・総会 法話:脇阪住職 (延期)

定例聞法会 (中止)

城南ブロック会総会・聞法会 (延期)

婦人会総会 (中止)

混声合唱団「エコー」練習 (中止)

城西ブロック会総会・聞法会 (延期)

仏教青年会総会 (延期)



6月

- 6日(土) 午後1時半
14日(日) 午後2時

定例聞法会

城北ブロック会総会・聞法会 場所:川口リリア

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。



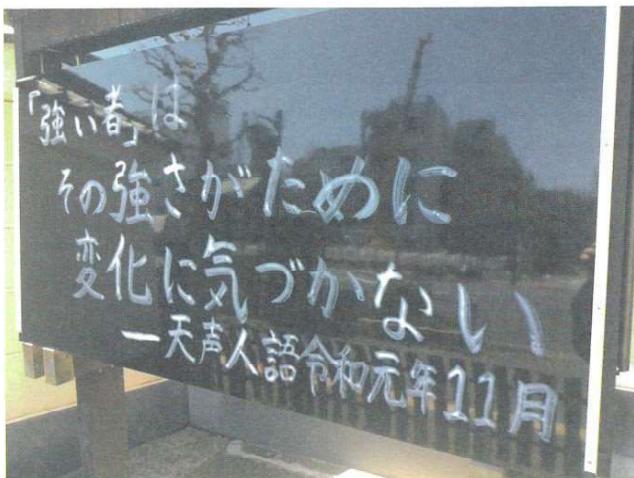
えこおファイル在庫あります。

平和の祭典と謳われるオリンピック日本開催を直前にして、予期せぬ新型コロナウイルスの発生、蔓延で世界中が大混乱している。未曾有の方々がかけがえのない命を失った。謹んでお悔やみを申し上げます。

今、正体の見えない化け物菌に怯え、日夜戦々恐々としている私たち。暗中模索の中、殺菌・抗菌・除菌・無菌を目指し、総力を挙げてコロナ菌撲滅に取り掛かる。膨大な殺菌消毒剤を噴霧し、あらゆるものを消毒する。

しかしウイルスに詳しい生物学者は、ウイルスの発生と生物の進化は共生してきた歴史があると説く。私たちが追及してきた生活の豊かさと便利さ、スピードは、公然とした自然環境の破壊を開拓してきたのではないか。自然の摂理、メカニズムが、人間の手にかかり失われた結果、新型ウイルスが人間を侵食してきた。「邪魔者は殺せ」の私たちであるが、一日も早い終息を願っている。

(大谷 義博 記)



三月に掲げた山門の言葉
『「強い者」はその強さがために変化に気づかない』
を皆さんはどう聞いたのか、お尋ねしました。

みんなは
こう聞いた!!



自分の今まで生きてきた価値観で物事を判断している私。子どもが2人いますが、子どもにも私の価値観で接しているように思います。「お父さんが子どもの頃と今は違う」と言われる始末…。いかに自分が変化に対応できていないかを痛感する、これも大事な日常です。

(30代 男性僧侶)



本当に強い人は守るものがある人だと思う。家族や仲間、自然や動物。自分の為だけではないひとではないでしょうか。

(40代 女性会社員)



皆様の代わりに、お花・お線香等、お墓にお供えできます。

えこお特別企画



今、よろこびを^{おも}念う

念：心に留めること、気持ち、強い意志・信念・願望

世の中が不安の黒雲に覆いつくされ、沈み込んでいる今、私たちは何をよろこびとして願うでしょうか。先行きが不透明な今だからこそ、何が本当のよろこびなのか、何を抛り処として生活していくべきなのかを皆さんと共に考え、共に歩む手がかりとしていきたいと思います。

脇阪住職



はかない命を生きている私に気付かない日々。すべての事を、「あたりまえ」と思いこんでいる。今日有ることは不思議、有難いと頂き、「おかげさま」と念が転回していく。「おかげさん」でないものは、この世に一つもありません。みんな「おかげさん」で成り立っているのです。「与えられた今日のいのちをイキイキはつらつと生きる。それが仏様の教え」(相田みつを)

こんな私に居場所が与えられている。「ようこそようこそ」と満面の笑みで迎えて下さる人がいる。これこそが、よろこびではないだろうか。

山崎 哲



黒雲が晴れて“元通り”になることがよろこびだと思う。でも、そればかり願うあまり常に暗い「影」に支配され、無い物ねだりの毎日。今、与えられているもの、有るものを見失っていることが本当の黒雲。暗い「影」を追いかけるのではなく、今この私の礎になっている「(お)陰」に目覚めることが急務! ?その発見以上のよろこびはない。どうか皆様お大事に。

大橋 伊知郎



自肃要請を受けた「今」、私たちは多くの人や物事、それぞれが置かれている環境と切っても切り離せない関係を結んでいたことを実感する。そんな事は当たり前過ぎて考えもしないだろうが、良くも悪くも、その関係性によって今の私自心が成り立っているはず。

「今、よろこびを念う」ならば、どんな状況であれ自分自身を育んで下さった様々な背景に、今だからこそ目を向ける機会が訪れているのではないだろうか。

高橋 淳



買ったまま放っておいた本を読んでいる。面白い。どうも手元にあると満足するようで、身近なものほど、なかなかありがたみに気づけない。積み上がった本や、今までの当たり前の日々からも感じる。

多大な影響を与える新型コロナウィルスは同時に、今までの日々を再考させる。「当たり前のことは当たり前ではない」、よく聞く教えを到底「よろこび」とは思えないが、「本当のよろこびとは何か」と考えることが、よろこびなのかもしれない。

蓮井 邦宗



改めて願うことは、我が子の成長です。外出自粛で思うように外に出られないこと疲弊し、不満が募るばかりです。

2歳になる息子は、そんな不自由な生活に不平不満を漏らすことなく、精いっぱい今を生きてています。その姿に、今に満足できない自分の在り方が教えられると共に、「足るを知る」という言葉を思い起こさせてくれます。子どもの成長が私をも成長させてくれます。それが今の私のよろこびなのかなと思います。

仲井 真裕



私にとってのよろこびは、馬のニンジンである。例えば週末に誰かと飲みに行くとか、何か目標を決めて、それに向けて頑張ろうと意欲をいただく。しかしそれは、不確かな未来をごまかしているだけであったと、今感じさせられる。

環境をいただくのが私たちである。目の前の環境をただ嫌っていては、私が生れてきたことも嫌いになってしまう。あなたも私も、皆共に、環境に迷いながら生きるという原点を共有できることが、よろこびなのである。



私のいいね！



「生き物・ペット」 菊池 達也

私が一番熱中しているのはペット、生き物です。子どもの頃から金魚・カメ・ザリガニや文鳥・鯉など、特に種類のこだわらずに色々な生き物を飼っていました。

今は、リスやネズミの仲間のデグー（写真）・ハムスター・カメ・エビと金魚を飼っています。

魅力はとにかく可愛いことです。情がわき、私の癒しになってくれています。

高くて珍しいのでなかなか難しいんですけど、今後はプレーリードッグやモモンガを飼ってみたいですね。

門のわきの華香所にいますので、見たい方は声をかけてください。



「一代墓地」新設置、受付中。

えこお志お礼

台東区	青木	公子	様
台東区	入倉	晴治	様
板橋区	木下	好江	様
北 区	小山	光子	様
大和市	齊藤	祐三	様
台東区	平岡	誠司	様
港 区	安井	均	様
台東区	吉川	明子	様
台東区	小林	浩子	様

ご淨財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせて頂きます。

慶所聞

～よろこび合う生活～



感染がおさまらない新型コロナウイルス。残念ながら先月から始まった「お斎ナビ」は、しばらくお休みすることとなりました。

医療従事者の方々、生活必需品を取り扱っておられるお店の方々、物流を支えてくださる方々等、この状況の中、私たちの生活を守ってくださる方々に感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございます。

様々な生活を自粛されている方々も、今私たちに出来ることを考え、共に今は耐え忍びましょう。

「虹を呼ぶ雨の下 皆同じ雨の下 うまく手は繋げない それでも笑う 同じ虹を待っている」(BUMP OF CHICKEN『虹を待つ人』)

(仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook